

ストップ 食品ロス



県内小売業者や飲食店

本来はまだ食べられる商品が売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなどで廃棄される「食品ロス」を削減する取り組みが、県内の小売業者や飲食店などで広がっている。国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の12番目（「つくる責任」と「つかう責任」）の意識が高まっている。

県が二〇一八（平成三十）年八月から始めた「食べ残しゼロ協力店・事業所」認定制度は、同年十月したアンケート調査に

売れ残り防ぐ工夫

食べ残しゼロ認定店増

よると、七割以上が食品の使用を抑える。賞味期限が近いか、販売規格から外れた商品は感している。

県内でスーパー十五店舗を展開するいちい（本社・福島市）は、

売れ残しを防ぐ取り組みを二〇一六年から本格的に始めた。各店舗で総菜や弁当の売れ行きを見極め、余らない程度に追加調理して食

品ロスは五年前の同期より63%削減した。

昨年三十一月の食品ロスは

約五割減った。「残す量が多い場合は、味付

開始から三十分と最後の十五分は食事に集中するよう要請している。

個人経営店も知恵を絞る。会津若松市のパーソナル「会matter（マチエール）」は、

市場に出回らない規格外の野菜などを調理し、パンの具材として

いる。上級食育アドバイザーでオーナーの馬場正佳さん（36）は「形

状が少しいびつなだけで廃棄される野菜は多い。持続可能なパン屋を目指す」と意気込む。

今後は冷凍したパンや具材の販売も始める予定だ。



賞味期限が近い商品を陳列する従業員＝いちい信夫ヶ丘店・福島市

けや食材、メニュー自体を変更する」と工夫を凝らす。

個人経営店も知恵を絞る。会津若松市のパーソナル「会matter（マチエール）」は、

市場に出回らない規格外の野菜などを調理し、パンの具材として

いる。上級食育アドバイザーでオーナーの馬場正佳さん（36）は「形

状が少しいびつなだけで廃棄される野菜は多い。持続可能なパン屋を目指す」と意気込む。

今後は冷凍したパンや具材の販売も始める予定だ。

「食べ残しゼロ協力店・事業所」認定制度は、食べ残し削減などに積極的に取り組む店舗・事業所を県が認定する制度。県内で営業する飲食店、宿泊施設、食品小売店などが対象で、六つの取り組みのうち二つ以上の実践が条件。認定されると、認定証、認定ステッカー、啓発ポスターが提供される。食べ切れなかった料理の持ち帰り容器も無償で配られる。県は認定店などの取り組み内容をホームページでPRする。

南相馬市のバー「B ar Wizard（ウィザード）」は一人でも食べ切れるよう、パスタなどの小盛りサイズをメニューに加えた。食べ切れなかった人には持ち帰り容器を無償で配布している。店長の草野聡さん（36）は「お客さまにも

食品ロスの削減はSDGsの十二番目の開発目標「つくる責任」と「つかう責任」に該当する。県の認定店以外でも、食品の無駄を減らす取り組みが進んでいる。

農林水産省が昨年十一月に発表した国内の二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

消費者「食材余らせない」

農林水産省が昨年十一月に発表した国内の二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト

つある。いわき市の無職の部長代さん（36）は「二〇一九年度の食品ロス量（推計値）は、推計を開始した二〇二二年度以降の五百七十万ト